

2021学生図書委員会 第2回活動

共立の図書館でみつけた私のオススメ本

中原淳一の「女学生服装帖」

『少女の友』という少女向け雑誌に昭和12～15年まで連載していた、「女学生服装帖」というファッション・エッセイを単行本化したものです。昭和モダンを背景とした華やかな服の絵の数々は、当時の少女たちの憧れであったようで、今の私たちが見ても新しさを感じられるものばかりです。戦争が近づき「贅沢は敵だ」という気運が高まると、この服装帖は雑誌から姿を消してしまいましたが、中原淳一は最後まで美しく生きることを伝え続けました。そんなメッセージが、暗い世の中を生きる少女たちの心を照らすものとなっていたというあたりにはグッと来ます。当時の服装や文化、その背景にある出来事について知ることができ、ファッションや雑誌の歴史に興味がある人におすすめです。

【文芸3_みづき】

都会のトム&ソーヤ

読んでみるとワクワクが止まらない！自分も一緒に物語の中で冒険している気分になれます。都会のトム&ソーヤは中学生男子2人組が究極のゲームを作るため都会（まち）を舞台に冒険するお話です。この第1巻では、主人公たちの出会い、ピクニックという名の下水道探検、クイズ番組で起こったハプニングの話が書かれています。物話は主人公の一人称で書かれているため、2人のやり取りを自分が近くで実際に見聞きしている感覚になります。この本のオススメポイントは何と言っても臨場感があるところですが、他に様々な知識が増えるところも魅力だと思います。物語の中ではサバイバル知識や豆知識などの雑学がたくさんでくるので、読んでいると知識が増えていきます。更に、都会トムシリーズは大人気で実写映画化も予定されています。とても面白い物語なのでぜひ読んでみてください！

【文芸1_あいか】

戦う姫、働く少女

ポピュラー・カルチャーにおける女性表象について論じられており、さまざまな作品の結びつきを発見できる。『千と千尋の神隠し』や『アナと雪の女王』などのジブリの少女やディズニープリンセスが何と戦い、どう働いたのかを考えていくことでこれまで親しんできた物語に新たな発見がある。ジェンダー、フェミニズムに関心のある人やポピュラー・カルチャーが好きな人におすすめ！

【文芸4_なえ】

侍女の物語

初めて読んだ時には多くの女性に読んで欲しい本だと思いましたが、二回目に読んだ後は女性だけでなく男性にも読んでこの内容について考えてもらいたい本だと思いました。この物語の主人公である侍女のオブフレッドはとても聡明で臆病な女性として描かれており、彼女の友人であるモイラは対照的に衝動的で破天荒な女性として描かれています。受け身であり続けるオブフレッドを軸に進んでいくこの物語のなかでモイラという女性は奇抜だが必要不可欠な存在でした。二人が会話している場面はぜひじっくり読んで欲しいと思います。

【文芸1_ころ】

オタク経済圏創世記

オタク文化についてよくわかる一冊となっています。また、日本国内に留まらず、世界視点のことも書かれているので、幅広い人にウケる本になっているのではないか、と思います。

【ビジネス2_まるちゃん】

彼女について

この物語の舞台は現代の日本ですが、由美子という主人公が、魔女の血をひいている女性になっています。由美子が子供の頃以来会っていなかった従兄弟と、亡くなった両親の過去に向き合うために数日間の旅に出る話です。よしもとばななさんが好きなホラー映画をベースにしてかかれた本らしく、少しシリアスなところもあるのですが、ラストシーンで急展開があって面白いです。かなしいファンタジーの物語ですが、切なさとともに暖かさや何気ない日常の大切さを感じることができる作品だと思います。

【文科1_あんじゅ】

世界の美しい図書館

『世界の美しい図書館』は手のひらサイズの写真集なので、「気分転換したいけどしっかりした文章は読みたくないなあ」というときに手に取りやすい。また、図書館の歴史や様々な国の文化、建築やデザインの例を学ぶことができるので、共立に通う学生には研究に生かせる本であると思う。

【文芸1_みずき】

こんにちはアン

この本は、モンゴメリー作「赤毛のアン」シリーズの100周年を記念し、アンがマッシュウ、マリラのクスパート兄妹に引き取られるまでの11年間で描かれた物語です。「赤毛のアン」の本編では、アンは身の上話など“想像の余地もない”と言いつつほとんど語られることはありません。実の両親、育った環境、大小さまざまな事件など、アンの知られざる幼少期に触れてみませんか？きっとこれまで以上にアンのことが好きになること間違いなしです。アンシリーズが好きな方には是非お勧めしたい一冊です。

【文芸_りお】

知って得する図書館の楽しみかた

図書館の基本的な仕組みや使い方から、図書館で行われているユニークなサービスについても具体例とともに紹介されています。「図書館って無料の貸本屋さん？」と思っている方も多いかもかもしれませんが、この本を読めば図書館の多種多様なサービスを知ることができます。普段図書館をあまり利用しない方から、図書館マニアの方まで楽しめる一冊です。

【文芸3_みわ】

学びとは何か<探求人>になるために

自分以外の人に何かを伝える時、また知識を習得する時に求められるものが何かについて考える際に役に立つ一冊。

【文芸2_あや】

おれの墓で踊れ

作者が新聞で「友人の墓を損壊した」という事件の記事を読んでインスピレーションを受けた作品。ある日16歳の少年が「死んだ友人の墓を損壊した」という罪で逮捕される。その友人は18歳でなぜ若くして死んでしまったのか。なぜ墓を壊すようなことをし、一体二人には何があったのかを描いている。80年代のイギリスが舞台にしたそんな10代の少年2人のひと夏の運命的な出会いから永遠の別れまでの7週間のお話である。2人がどんなに幸せそうでも話を読み進めると1人は亡くなってしまうので、死んでほしくないけど続きが気になってしまうという葛藤が読んでいて起こる。誰しもが経験する初恋の衝動や突然すぎる友人の死に向き合うには幼すぎる少年の感情にとても心を揺さぶられる。

【家政2_りの】

日本の観光

この本を選んだきっかけは現在、コロナ禍という状況で私たちは家か学校、近場、県内またはその周囲と限られた場所と行った遠出ができない状況でありせめて何か家で楽しめるものはないかと思った時です。この本にはたくさんの日本の風景を写真や文字で紹介しています。さらにその風景は今の日本ではなく昭和期以前のもが多く掲載されていました。この本を読んだとき、「この本は旅行気分だけでなく歴史も学べる」という印象を受けました。また、芋づる式読書マップ作成時には他の本とのつながりで日本の歴史だけでなくメディアの歴史も含まれているという発言もあって、違う視点も出て、とてもいいブックトークになりました。

【家政2_はつね】

芥川龍之介全集3

この本は、懐かしい気持ちになれる話から、不気味な話、皮肉が込められた話、教訓が込められた話まで様々な作品が収録されています。ゲームのキャラクターの名前の元になった作品があるのも特徴です。難しい文体の話もありますが、短編小説が主なので、普段本を読まない方にもぜひ手にとってみてほしいです。

【文芸2_りさ】

小さいうち

ジェンダー系のゼミに所属しているので、女中さんの話というのが気になり、この本を読もうと思いました昭和時代の話なのですが、その時代は花嫁修業のために女中として奉公していたとありました。そのため、文体もとても柔らかく、主人公からの奥様や旦那様への敬意が見て取れる物語でした奥様は裕福な家庭でもとてもキラキラした生活に見えるのですが、実は奥様にも秘密があり、ドロドロとした人間味のあるところもありました。2014年に黒木はるさんと松たか子さんにより映画化されているので、みなさんぜひ見てみてください。

【文芸3_あみ】

性別に違和感がある子どもたち

LGBTという言葉を知ったことがある人は多いだろうけど、対象の人が何を思ってどう接してほしいかまでは少なくとも私には分からなかった。他の共立生にも読んでもらい新しい価値観を感じてほしい。

【生活1_まさこ】

夏の庭

三人の小学生は人間の「死」に関心を持ち、近所の死にそうなおじいさんを観察し始めます。途中、おじいさんに気づかれてしまっていますが、そこから一緒に過ごしていく内に三人の小学生とおじいさんは友達のような関係になります。友達になったことで芽生える感情などの動きがとても面白い作品です。登場人物の気持ちの変化を感じ、人間関係の大切さを理解できるようになっています。「死」がテーマですが、重くなりすぎず、読みやすい本だと思います。

【国際2_しおり】